

ながの門前 まちあるき

1/31±
10:00~12:00

門前で暮らす人や働く人が
それぞれの視点でお店やたて
ものや暮らしを案内します。

vol. 235 まちなか耐震事情

空き家リノベは魅力的な反面、災害の
時どうなるか不安もあります。
1月といえば能登半島地震、というこ
とで防災特集と（勝手に）銘打ち、
耐震目線でまちを歩いてみます。



尾町 光穂 おまち みほ
長野市まちづくり課職員

民間の建設会社に働いたのち転職。
昨年まで長野市建築指導課で建物の
耐震支援を行っていました。現在は
まちづくりについて鋭意勉強中。

ガイド

参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所（R-DEPOT内）

参加費：ながの門前まちあるき 1,000円（U22 無料）

空き家見学会相談会 500円（U22 無料）

定員：各10名 ※要申込

申込み：☎026-219-2280（月曜休）✉info@r-depot.com

空き家 見学会&相談会

1/17±
見学 14:00~15:30
相談 15:30+

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介
もします。見学会の後、空き家
を活用してやりたいことについて
個別でお話しをします。



安東 真生 あんどう まさき

R-DEPOT スタッフ

信州大学建築学科卒。R-DEPOT社員
として、善光寺門前で事業を始めよう
とする人のサポートをしている。建築
が好きで空き家をカッコよく活用した
い。趣味はカメラ。

空き家
こぼれ話

空き家を改修している建物で、R-DEPOTの古
道具チームが管理している古建具を活用する話
が出てきています。レトロな型ガラスはもう生
産していないようだし、経年変化のある木枠な
ど含めて空き家の改修と相性がとても良いと感
じています。

窓口開設中！
◎R-DEPOT



いろんなことも
話しに来てみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・お店をはじめたい
- ・家財を引き継ぎたい
- ・場所がほしい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00（月曜休）

問：☎026-219-2280 ■info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
（2015年～）

【主催】長野市中心市街地活性化協議会

【問合せ】事務局 ㈱まちづくり長野
（電話 026-267-5323）

【プロジェクト】

◎西鶴賀町エリアリノベーション（2020年～）

拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

◎石堂町エリアリノベーション（2022年～）

拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

◎まち暮らしたてもの案内所（2024年～）

拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所



まち暮らし たてものの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



第34回
1/9 金
16:00・17:00

オープン直前のリノベ物件
の振り返り（後半回）

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

来年度からのまち暮らしたて
もの案内所の活動について

... etc

第35回
1/23 金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料



議題

R-DEPOT を使った
学生の活動

参加者：9名

第30回

11/14

R-DEPOT の1Fカフェを借りて朝ごはん会を開催している長野県立大学の学生さんと学びの場を伺いたい学生さん、なぜ?の方に参加して頂きました。学生さんがイベントを開催するまでに、どのような経緯なのか、何が課題としてあるのか、学生が地域で行動することによる影響と与えるか等について話し合いました。

議題

物件契約まで進んだ
事例の振り返り

参加者：8名

第31回

11/28

去年の春に空き家見学会に参加して頂いた方が、物件契約まで進み、現在開業に向けて工事中的のため、物事例について振り返りをしました。現在に至るまでの過程を4期に分けて、借主・貸主・仲介案内所の状態を説明。特に借主・貸主が物件契約に進むまでの思いや行動の変化が印象的でした。また、空き家物件のマッチングの難しさも同時に感じました。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2026

1月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち